

アジア・アフリカ ラテンアメリカ

今月の読み物

- 2・3 面 理事会報告
- 4 面 グエン・ゴックさん講演会
- 5 面 シンガポールツアー
- 6・7 面 列島 AALA
- 8 面 わたしと AALA

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会機関紙

2018 年 10 月 1 日 No.699

動き出した北東アジアの平和の流れ

国際署名活動を推進し

安倍 9 条改憲阻止を



日本 AALA 第 2 回理事会・常任理事会開催

日本 AALA は、8 月 25 日に第 2 回理事会・常任理事会を都内で開催し、43 人が参加しました。

理事会は、提案された国内外情勢、活動方針、会計報告の議案を満場一致で採択しました。

非同盟諸国に対して、昨年 7 月に国連で採択された核兵器禁止条約の調印と批准を促す文書を送ることを確認しました。

討論では、述べ 18 人の理事・常任理事が発言し、北東アジアで進む平和の動きに関わって各都道府県のとりくみを紹介しました。今年 4 月、6 月の南北朝鮮首脳会談、米朝首脳会談を経て急速に展開するアジア情勢を学習する機運が AALA の内外で強まっています。今後も学習をし、「9 条改憲阻止 3000 万人署名」とともに第 4 次国際署名

活動の推進を確認しました。

国際情勢に関して、朝鮮半島の非核化と平和の構築は予断を許さないが、こうした平和の動きを後押しする世論を喚起する必要があること、硬軟両様の外交を展開しているトランプ政権をどう見極めるか、また、非同盟諸国や ASEAN 諸国の果たしている役割が強調されました。

理事会後の常任理事会は 23 人が参加し、「国際署名」、会員増やしの活動、オスパールコーヒーの利用倍増、各県 AALA の活動の改善・強化などを協議しました。9 月 30 日投開票の沖縄県知事選挙支援カンパが参加者から 3 万 3000 円寄せられました。

日本 AALA の存在意義を発揮し、国際署名、会員を大きく増やし

平和・協力・繁栄の東アジア共同体を 平和で豊かな誇りある沖縄を

経済の不平等発展と市民のたたかいで世界の構造変化が加速し、米国中心の世界秩序が揺らいで中国や新興諸国の力が増えています。各国で特権富裕層と一般民衆との利害対立の深まりと政権交代という大きな変化が起きています。各国の勤労階級の主張は、格差と不平等、貧困の一扫、環境にやさしい経済の実現、民族排外主義とたたかい、非核・非軍事による平和の模索など、日本 AALA の運動方向と一致しています。非同盟諸国は核兵器禁止条約の採択に重要な役割を果たしました。今年開かれたバクーでの閣僚会議では、非核、非同盟、主権の尊重と紛争の話し合い解決、

多国間主義など諸原則が確認され、大国中心の秩序にかわる世界の発展方向を示しました。しかし議長国ベネズエラの政権にたいする攻撃やアラブ諸国の分断にみられるように核保有大国からの圧力や干渉が強まっています。

安倍政権は世界の動きに逆行し、トランプ政権に追従し、軍拡、辺野古新基地建設、9条改憲を狙っています。日本 AALA は、大国主義、干渉主義に反対し、民族自決権を擁護するとともに、安倍9条改憲を阻止して東アジアの平和の共同体を追求することを確認しました。以下は、理事会・常任理事会で採択された活動の方針です。

I 東アジアの平和共同体をめざし 第4次「国際署名」2万筆を

朝鮮半島での非核化・平和体制構築に向けた動きがはじまるもとで、「国際署名」は、時宜に合ったものとして進められています。11月下旬のASEAN議長国シンガポールに届けるためシンガポールツアーを実施します。

- ①都道府県 AALA は（以下、各県 AALA）10月末までに国際署名をさらに合わせて15000筆以上を集めます
- ②労組、民主団体、各種の集会でお願いするなど多様な方法で急速に署名活動を進めます

II 9条改憲阻止、沖縄県知事選挙、 辺野古米軍新基地建設阻止のた たかい

安倍政権は、2015年9月「戦争する国」づくりを狙って安保法制（戦争法）を強行採決で押し通しました。安倍首相は9条改憲

に執念を燃やしており、臨時国会での発議をおこなおうとしています。翁長雄志沖縄県知事は「辺野古新基地はつくらせない」と一貫して主張。県民は知事を支えて建設反対のたたかいを継続しています。安倍政権は8月には大浦湾で土砂の投入をすると公言し、あくまでも基地建設を強行しようとしています。

8月8日、翁長雄志知事が急逝しました。「オール沖縄会議」は、8月11日に「県民大会」を開催し、7万人が参加し、逝去した知事に対し、黙とうを捧げました。知事の「辺野古に基地は造らせない」の遺志を引き継ぐ決意が示された大会となりました。

- ①各県 AALA は、他団体と共同して署名活動、学習会、宣伝、諸行動のとりくみを強めます
- ②沖縄県知事選挙勝利のため、勝利支援カンパ、檄布、代表派遣などを進めます
- ③辺野古新基地建設反対のたたかいにさまざまなかたちで参加します



情勢報告をおこなう田中代表理事

III 会員を増やすとともに組織の改 善・強化を

朝鮮半島情勢が急展開し、非核化、平和体制の構築へと動き、核兵器禁止条約の署名、批准が核保有国の妨害のなかでも進みつつあります。4年目の第4次「国際署名」の意義、日本 AALA の存在意義に確信を持ち、組織を拡大・強化します。また、連帯運動を支えるのは会費収入を中心とする確かな財政です。会費の100%納入をめざして財政活動を推進します。

- ① 第1節：8/25 第2回



活動方針を提案する野本事務局長

理事会から 10/21 全国学習交流集会まで

第 2 節：来年 2019 年 9 月第 54 回定期大会まで

- ②目標 現勢の 30%増で来年 9 月の定期大会までに 5000 名をめざします

IV 秋の全国学習交流集会の成功を

交流集会は、2つの講演会で学び、全国の仲間との交流をします。ネルソン・マンデラ生誕百年

の南アをはじめ、現代アフリカの諸問題を進歩と連帯の立場から学びます。北東アジアの平和の動きが進むなかでの中国の果たす役割は大きいと言えます。その外交政策を学びます。各県 AALA が前回を上回る複数の参加者を確保します。

- ① 10 月 21 日（日）、22 日（月）（1泊2日3食）
- ②熱海市のニューフジヤホテル（2016年の前回と同じホテル）
- ③ 21 日（日）

理事会での発言（発言順、敬称略）

- 福田 秀俊（愛 知）非核・非同盟が AALA の特徴
- 浅尾 剛（群 馬）中高での現代史教育の必要性
- 山本富士夫（福 井）原発推進は憲法違反
- 林 俊光（茨 城）北東アジアの平和共同体の取り組み強化
- 伊藤 恵夫（北海道）トランプ政権を正確に見る必要
- 小林 立雄（宮 城）朝鮮半島での大きな変化について声明を出し呼びかけた
- 松井 幸博（東 京）沖縄・横田を初め基地問題
- 山本 翠（愛 媛）沖縄での選挙支援の取組み
- 萩原伸次郎（本 部）トランプ、金正恩、文在寅の 3 首脳の関係と今後の動き
- 吉澤 文寿（本 部）平和を願う文在寅大統領と金正恩委員長の政治姿勢
- 石山 久男（本 部）日中韓の歴史教育と平和のフォーラム、教科書採択問題で市民運動の成果
- 久保田三徳（埼 玉）2018 年埼玉 AALA 連帯のつどい
- 福田 秀俊（愛 知）朝鮮半島問題学習会で 4 人の会員増
- 金森 洋司（福 井）会員拡大を執念を持って実践
- 上田 敦子（千 葉）9 条の会と共同で北東アジアの平和の学習会を予定
- 上村 得世（大 阪）8 月末の AALA 韓国ツアーで参与連帯と交流
- 力重 智之（兵 庫）若者に学習会参加を呼びかけ 100 人会員を回復
- 岡阿弥靖正（千 葉）日韓の人民レベルで交流し、東アジアの平和を

講演「現代アフリカの諸問題と連帯」（仮題）

講師 勝俣誠 明治学院大学名誉教授

基調報告、各県 AALA からの報告、夕食交流会（各組織の自己紹介）

22 日（月）

「北東アジアの平和構築と中国の対外政策」

講師 大西広 慶應義塾大学教授
昼食 討論、15 時終了予定

V オスパールコーヒーの普及に格段の努力を

オスパールコーヒーの現状は、購入者が最高時の 1000 人余から比べて現在はほぼ 3 分の 1 に減少しています。会員の高齢化、労組、民主団体の組織の減少、可処分所得の低下で購入が減少していると思われていますが、定期的に確実に利用する方、喫茶店、民主団体が根強い人気があるのも事実です。

オスパールコーヒーは 30 年前にニカラグアの革新政権を支援することからはじまり、ラテンアメリカ諸国の人民の運動に連帯する活動として発展してきました。同時に、コーヒーの普及により各都道府県 AALA の連帯運動の財政にも貢献してきました。昨今は低廉なコーヒーの販売が広がり、オスパールコーヒーの利用者の減少の一因ともいえます。

そこで現状を直視し、抜本的対策として各県 AALA は購入者の増加のために現状の 2 倍以上の購入者を増やす目標をたててとりくみます。

VI その他

- ① 2018 年シンガポールツアーを 11 月 25 日から 28 日実施、国際署名提出、戦跡見学など
- ② 11 月 14 日から 16 日までモロッコで第 11 回アジア・アフリカ人民連帯機構（AAPSO）が大会を開催、代表を派遣。

同時代史としての「ヴェトナム戦争」 その時代を生きた人びとへのオマージュ

ヴェトナム人作家グエン・ゴック氏の来日講演にあたって

来日歓迎委員会・副委員長 河内 研一（日本 AALA 常任理事）

日本 AALA 連帯委員会会員の年齢構成の資料はないが、一部若い人を除くとその多くは、ヴェトナム戦争とともに青年期、壮年期を過ごしたのではなかろうか。私も勉学と活動の両立に喘ぎながらも、彼らの戦いや歌に励まされ続けた一人である。労働者も学生も、そして知識人も、古田元夫の言うように、確かに「ベトナムという一つの言葉で結ばれていた」（『歴史としてのベトナム戦争』1991年 大月書店 p178）。

ついに迎えた1975年4月30日。間違いなく私も、あの日の感動を生涯忘れることはない。今は亡きヴェトナム史家、若き日の吉沢南は歴史論文をこう書き出していた。「もし私が詩人であったならば、1975年4月30日のあの日の万感の思いを歌いあげるだろうに」（『現代と思想』1975年12月）。私には新鮮な衝撃で、憧れの先輩歴史研究者を、等身大で身近に感じた一瞬であった。

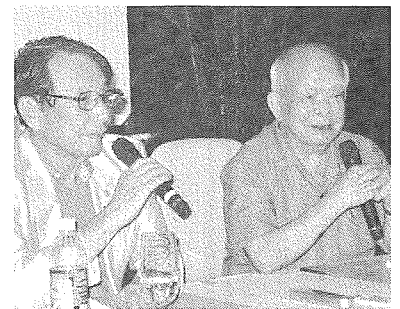
2018年現在、ヴェトナムでは解放後に生まれた人たちが、すでに全人口の3分の2を超えた。ドイモイの進む中、その発展ぶりには驚かされるが、ヴェトナム戦争は遙か彼方となり、今や人々の意識からも記憶からも消え去ろうとしているかのようだ。

「平民（ビンザン）」とよばれる一般市民の戦争当時の生き様はず日記の形で伝わり始めた。レ・カオ・ダイ『ホーチミン・ルート 従軍記 ある医師のベトナム戦争1965-1973』（古川久雄訳 岩波書店2009年）の出版は1997年であり、8年に及ぶ膨大な日誌は、医師の立場から見たヴェトナム戦争の実相を余すところなく伝える。2005年には『ダ

ン・トゥイ・チャムの日記』（邦訳は『トゥイの日記』高橋和泉訳、経済界2008年）が記録的ベストセラーとなり、健気に生き銃弾に倒れた若き女医の生涯は多くの人々の涙を誘った。いずれも主人公は医師であり、舞台はホーチミン・ルートであったのに対し、より庶民に密着し、海上の支援ルートに光を当てたのが、今回お呼びするグエン・ゴックである。

映画（1994年上映）の脚本を、2000年にルポルタージュ文学として改めて世に問うたのが『海のホーチミン・ルート』である。ヴェトナム取材経験豊富な鈴木勝比古が、今回豊富な資料・注をつけて翻訳出版した（富士国際旅行社 2017年）。グエン・ゴックは歴史を前進させた名も無き人々を丁寧に取材。多くは既に亡くなり、一部の人は過去を胸に秘めたまま社会の一隅で慎ましく生きていた。消え去りゆく記録と記憶を、彼は時間との闘いの中で紡ぐことに成功した。

1932年生まれのグエン・ゴックは1950年にヴェトナム人民軍に入隊し、中部の第5戦区で活動。ディエンビエンフー勝利後のジュネーブ協定（1954年）で87000人が北に移動（北部結集）したが、彼もその中の1人であった。1960年12月、南ヴェトナム解放民族戦線の結成。



グエン・ゴック氏（右）と通訳鈴木勝比古氏

党の方針で、南出身の彼は1962年仲間と共に南部に戻り、主として「文芸戦線」で活動、作家としての名声を得るようになる。

解放後は、文筆のみならず発言する文化人として活躍、国会議員も務めた。2013年の憲法改正では、否決はされたが著名な民間人72名の連名で改正案を国会に提出、一石を投じた。環境問題でも一家言を持ち、原発建設には反対を貫いている。ダラット原子力研究所初代所長で国際的にも著名な原子物理学者ファム・ズイ・ヒエンは、かの72名の同志であるだけでなく、原発問題でもグエン・ゴックと共に反対運動を牽引している。

今回の来日講演では、解放戦争を当事者として戦いその記録を残したグエン・ゴックと、日本にあつて支援活動に燃えた私たちと、改めてその連帯の絆を確認し、ヴェトナム戦争の歴史的偉業を語り合えたらと願っている。（文中敬称略）

講演会は11月3日13:30～東京労働会館ラパスホール、11月4日14:00～名古屋都市センター第3階会議室、11月6日13:00～立命館大学平井嘉一郎記念図書館カンファレンスホール、11月8日14:00～大阪市ドーンセンター4F大会議室にて開催。詳細は「グエン・ゴック 海のホーチミン・ルート」で検索、<http://www.white-magnolia.info/>のHPをごらんいただくか、「グエン・ゴックさん一行来日歓迎委員会」事務局（富士国際旅行社 TEL03-3357-3377）までお問い合わせください。

サミット議長国シンガポールに、「国際署名」を提出し、懇談・交流!

2018年 日本AALA シンガポール訪問団 4日間

旅行期間 2018年

11月25日(日)~11月28日(水)

旅行代金 ¥175,000 (東京発)

定員 20名 (最低実施人数15名)

※旅行代金の他、燃油付加運賃や空港施設使用料・保安料、現地空港税など(約10,000円)が別途かかります。

添乗員 羽田空港より同行

申込締切 10月25日(木)

シンガポール・基本情報

【正式国名】シンガポール共和国
【人口】約561万人(2015年統計)
【言葉】英語・マレー語・中国語・タミル語

【時差】日本より1時間遅れ
【通貨】シンガポール・ドル(1ドル=約79円)
【電圧】230ボルト、50Hz、プラグBF/B3型
【気候】熱帯性で年間を通して暖かい
【食事】公用語になっている4つの文化と熱帯の食材が組み合わせられた多彩な食文化が混在している。

都市	最低気温	最高気温
シンガポール	24℃	31℃
東京	15℃	22℃

旅のおさそい

2017年のフィリピン訪問に続き、今年、日本AALA連帯委員会は、東アジアサミット議長国シンガポールを訪問し、会議事務局に第4次「国際署名」を直接届けます。今年4月の朝鮮半島の南北首脳会談は「板門店宣言」を、6月の歴史上初めての米朝首脳会談は「共同声明」を発表しました。いま、朝鮮半島の非核化、平和体制の構築にむかって東アジアでの平和の展望が広がろうとしています。日本AALAが2014年8月に提起した「戦争するな!どの国も 東アジアを平和・協力・繁栄の共同体に」国際署名は4年目となりましたが、「国際署名」はますます重要となっています。

昨年7月に国連で採択された「核兵器禁止条約」は核保有国の妨害がある中、60カ国が署名し、14カ国が批准しています。各国の市民運動や非同盟諸国の奮闘、日本と世界の反核平和運動は核兵器のない平和な世界をつくる大きな力となっています。

今回のツアーは米朝会談の行われたシンガポールで、署名を届け、交流・観光を行います。

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会

北海道 AALA 国際署名 1000 筆達成したい

シンガポールに提出する「第4次国際署名」は締め切り間近ですが、北海道は、今年の4月末まではほとんど動きを作れませんでした。しかし、昨年7月に国連で核兵器禁止条約が採択され、今年6月には米朝首脳会談の実現によって北朝鮮の核開発に一定の歯止めがかかるという、大きな情勢の前進がありました。事務局では、これらの展開を踏まえて「国際署名」についても議論し、字句の補強や進め方の修正を日本AALAに提言することも視野に入つつ、例年並みの署名目標1000

筆は集約しようと確認してきました。

メーデー北海道集会での174筆を皮切りに、苫小牧での選挙応援先で30筆、南区革新懇の講師を引き受けた際に43筆、矢白別平和盆踊りで約100筆、写真展仲間への依頼で40筆、かつてお世話になった保育園に依頼して134筆など、8月末現在734筆となりました。多くの会員の力でコツコツと集めたものですが、とりわけ4月に迎えた新入会員の力が大きかったことは特筆に値します。



矢白別平和盆踊り会場

「東アジアを不戦、平和、協力、繁栄の共同体に」という訴えは、国連や朝鮮半島を巡る新たな情勢に呼応するものだし、沖縄の辺野古新基地建設を強引に進めようとする安倍内閣へのアンチテーゼでもありません。残り数週間ですが、目標1000筆の達成をめざしたいと思います。

(事務局長 片岡 満)



栃木

「慰安婦」問題分科会を担当

栃木 AALA はかねてより「慰安婦」問題の学習会を開催する方針を提起していましたが、ようやく念願かなって 2018 年の栃木県母親大会で、テーマ「女性の人権

から戦争を考える」の分科会を担当することになりました。

助言者に吉川春子・元参議院議員をお願いすることにして、栃木 AALA の出番はなにかを話し合いました。折しも女性記者へのセクハラや、大相撲の土俵上で看護にあたらうとした女性看護師たちへ「降りてください」とのアナウンスされた件もあり、女性の尊厳が守られていない現実を 2 人の AALA 会員から問題提起してもらうことになりました。

5 月 7 日、5 人で参議院議員会館に吉川春子さんを訪ね、内容や進行について懇談しました。吉川さんは、日本軍従軍「慰安婦」にどれほどの人数の女性たちがさせられたか、韓国の金学順（キム・



ハクスン）さんがはじめて名乗り出たこと、日本が占領・支配した各国に慰安所があったことも語りました。日本では声をあげにくい風潮があるなか、吉川さんが知りあった元「慰安婦」の方々もいまは生存していないとのことでした。国際連合は「慰安婦」を「性の奴隷」と名付けました。吉川さんの話に聞き入っていた私たちは当初予定していた助言者の時間を

学習交流集会で世界を学び 全国の仲間と交流を



2016年11月の集会

10月21日(日) 13:00 開会

テーマ「現代アフリカの諸問題と連帯」(予定)

講師：勝俣 誠・明治学院大学名誉教授

*三役会の基調報告、4都道府県の報告、夕食交流会(各県 AALA 自己紹介)

10月22日(月) 9:00 ~ 15:00

テーマ「北東アジアの平和構築と中国の対外政策」

講師：大西 広・慶應義塾大学教授

*討論・交流(昼食休憩) 交流集会まとめ

場所 熱海ニューフジヤホテル 0557-81-0111 (JR 熱海駅下車：送迎バス利用)

※交通費、宿泊費(1泊2日3食、1万6500円)は参加者負担

3・1 朝鮮独立運動 100 周年キャンペーン 朝鮮半島の「大転換」と日本の進路

●講演 権 赫泰(フォン・ヒョクテ) 韓国・聖公会大学教授 中野敏男 東京外国語大学名誉教授

●日時 10月20日(土) 18時30分~ ●会場 文京区民センター 3A 集会室

●主催 3.1 朝鮮独立運動 100 周年キャンペーン実行委員会

増やすことにしました。

6月24日、栃木 AALA 担当の分科会はいちばん広い70人の会場を充てられ、73人が参加した分科会になりました。吉川さんのお話のあと、参加者の質問を受けました。ほかの国の兵隊はどうだったのかなど4人が質問し、吉川さんがていねいに回答しました。吉川さんのお話はまだまだ尽きないので、改めて機会をつくりたいと思っています。

(理事長 日野川勇一)

新潟

板門店宣言・米朝共同声明を学ぶ

7月27日、新潟 AALA は第11回総会と「朝鮮半島における平和体制構築と日本一植民地支配、分断、そして朝鮮戦争」と題する記念講演会を開催しました。

総会では、昨年第10回総会から1年、昨年7月には核兵器禁止条約が122カ国の賛成により国連本部で採択されたことや、世界の平和の流れが大きく前進していることを確認し、その一翼を担っている AALA の役割と魅力を確認し合いました。

記念講演では、新潟 AALA 代表理事の吉澤文寿さんが、「朝鮮半島の平和と繁栄、統一のための板門店宣言」のテーマで、米朝共同宣言の意味、そして日本が朝鮮半島の平和体制構築に向けて、どのように関与できるかを熱く語りました。

吉澤さんは、6月にシンガポールでおこなわれた米朝首脳会談は、朝鮮の歴史における画期が訪れたことを予感させるものであり、相互間の信頼構築が朝鮮戦争を終結させると同時に、朝鮮半島の非核化を増進させるだろうとの認識のうえで発表された4つの共同声明を紹介しました。その骨子は、①平和と繁栄のため、新しい米朝関係を構築する②朝鮮半島における持続的で安定した平和体制構築のために共に努力する③朝鮮

半島の完全な非核化に努力する④すでに発見された遺骸の送還、というものです。吉澤さんは「遺骸については、朝鮮戦争で戦死した、いわば敵軍兵士の遺骸を65年経って手渡すことがおこなわれるということで、アメリカは兵士の遺骸を熱心に捜す国であり、遺骸送還というのは両国の関係を改善する大きな力になるだろう」と強調しました。

また、この声明は板門店宣言と異なり、「なにからななまで事前に話し合っただけで決まったのではなく、まず首脳同士が会ってそのなかで構築していく平和のプロセスを示したものだ」ということです。

朝鮮分断に日本がどのように関



与していたのかという点では、日本の植民地ということで朝鮮という1つの国が分断されたのが歴史の真実であり、朝鮮戦争の「当事者」である日本がなすべきことは、「朝日関係において基本は、昔も今も過去精算である」(6月26日、朝鮮中央通信)」と、再認識した講演会となりました。

(事務局長 野沢洋子)

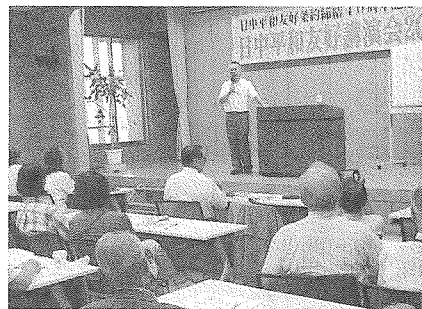
福井

日中平和友好講演会と韓国旅行

9月9日、日中平和友好条約締結40周年記念「日中平和友好講演会」を日中友好協会福井支部と共催で開きました。当日は、AALA と日中友好協会の会員のほか、東本願寺職員や一般市民など80人を超える人が参加しました。

李丹さんの二胡の演奏のあと、講演に移りました。南京から駆けつけた、戴国偉さんが、私のなかの「南京事件」というテーマで親から聞いた南京虐殺のことを、流暢な日本語で話してくれました。また、愛知の青木茂さんの「中国人強制連行、強制労働と万人抗(人捨て場)」の話は、日本ではほとんど知られていないことばかりで、中国国内での日本軍による炭鉱などでの強制労働による死や捕虜の虐殺で死者が2000万人を超えるという発言には参加者は息を飲みました。

福井県 AALA は、この秋、東アジアの歴史と現状を学ぼうと東アジアを知る企画にとりくんでいます。9月28日から10月3日に「韓国平和と友好の旅」を計画し、



18人が参加します。今回は朝鮮半島の大きな変化を受けて、板門店を訪れるとともに、南北首脳会談、米朝首脳会談を韓国の人たちがどう受け止めているか、歴史にくわしい市民や学生から聞くことがメインです。学生はカトリック系の大学で、日本語を学んでおり、韓国の若者の受け止めが注目です。光州と済州島もはじめて訪問し、光州事件や4・3済州島弾圧事件など韓国の戦後史を学べます。

この韓国旅行のため、7月から学習をはじめ、中塚明著「日本と韓国・朝鮮の歴史」を3回で読了し、9月はじめには朝鮮戦争後の韓国、北朝鮮の歴史を会員がレジュメをつくり学習しました。旅行後はいつものように、参加者全員が感想文を提出して「報告記」をつくり、多くの人に読んでもらうと取り組みをおこないます。

(事務局長 金森洋司)

会員のみなさまへのお願いです

どうぞオスパールコーヒーを ご利用ください

オスパールコーヒー販売がはじまって31年目。平和を願うAALA諸国の人びととの連帯を思い、香りと味で好評のオスパールコーヒーをご家庭や職場でどうぞ。

オスパールコーヒーのギフトセットが全15種類からえらべます

基本3品：マラゴジペ/キリマンジャロ/ブレンド (箱代250円)
基本6品：3品+マンデリン/ブラジル/コロンビア (箱代250円)
3品セット：3,370円/6品セット：6,290円



(株) オスパール FAX: 049-254-8158 電話: 049-254-6241

日本AALAホームページからもお申込できます。

日本AALA

検索

わたしと

107



AALA

山梨AALA代表
加藤啓二

山梨AALAを続けるために

私は1981年に弁護士になり、甲府合同法律事務所に入所しました。当時の甲府合同法律事務所は山梨県内の唯一の民主的法律事務所です。いろいろな大衆運動の事務局がおかれていました。AA連帯(当時はこのように呼んでいた)もそのうちの一つでした。AA連帯はなんとなくなじみの薄い組織でした。それでも年に何回か会議がもたれ大学の先生やお医者さんなどが5、6人集まっていました。

話の中身は天下国家よりももっと幅の広い世界をどうみるという大きなものであったように記憶し

ています。

ほかの組織とは異なるユニークなAA連帯の活動のなかに海外に行けることがありました。事務所の寺島勝洋弁護士も1985年にニカラグアとその周辺に行っています。「ニカラグアとはどこにある?それは南半球か北半球か」などと大騒ぎをしながらの旅立ちですがなんとか無事に戻ってきました。事務所員は入所したのち1回は海外に行ける方針のもとに、私も1988年に西サハラアラブ民主共和国に行きました。本部の秋庭さんから寺島になんとか1人、2人派遣しろといわれての参加でした。西サハラアラブ民主主義共和国とはどこにあるのかと地図をみましたがのっていません。あちこちきいてみてモロッコの南側であることがわかりました。

私はそれまで海外に行ったことはまったくなく、飛行機にのれる、飛行機のなかで飯がくえることが楽しみです。出かけてきました。いま

でも砂漠、星、ラクダなどをテレビで見るとこの旅行を鮮やかに思い出します。我々の団長は畑田重夫先生でした。いまでもお元気で講演をされている姿をおみかけします。アルジェリアの砂漠の赤い砂、バカデカかったバッタ、トリ肉のような味のラクダ、トイレも1つしかない迎賓館での宿泊、どれもはじめての体験でした。

それから30年を経過しました。あのころの山梨AAをとりしきっていた寺島弁護士も鬼籍に入ってしまった。AA連帯の会員は少なくなってしまいました。これで私が動けなくなればおそらくはこれでおしまいになるでしょう。そうはさせまいとは思いますが、どうしても目先のことに追われAAの活動は後回しになってしまいます。今後の山梨AALAを引き受けてくれる人を探すためにも定期的に会議をもち、講演会などの企画にとりくむことが求められています。

編集・発行

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会 JAPAN ASIA AFRICA LATIN AMERICA SOLIDARITY COMMITTEE



住所 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-11-7 第33 宮庭ビル4階
電話: 03 (5363) 3470 HomePage <http://www.japan-aala.org/>
FAX: 03 (3357) 6255 E-mail: info@japan-aala.org
振替 00110-6-72434 毎月1回1日発行1部150円(送料62円)